

ロールバーに関する緩和項目

FORMULA DRIFT[®]
J A P A N

2019年 メインフープも含め、40パイ 2mm厚の使用が認可されました。(ただし2020年度は45パイとなる可能性もあります)

下記図 J-2 J-3 J-4 それぞれの製作方法の違いがあるが、いずれの製作方法も図の黒色部分(メインフープ)は、45φ 2.5mm厚か、50φ 2mm厚のパイプを使用しなければならない。



上記の車両レギュレーションに関しまして2019年も各方面より40パイに緩和してほしいとの強い要望があり、アメリカFORMULA DRIFT本体の車両規定委員会らと協議を重ねた結果、緩和されることになりました。つきましては構造的な緩和はありませんが、上記のような構造を持った上で、メインフープも含め40パイ×2mm厚パイプの使用を2019年度も認めてもらう事が出来ました。2020年度からはFIAに準じたロールケージが必要になる可能性もありますので、2020年に向けて今よりご理解とご準備をお願いいたします。

なお、すでに45パイで製作頂いた方には深い感謝を致します。2020年度より45パイのメインフープが必須になる可能性もありますので早めにご協力頂けた事、当初の車両レギュレーションに従って製作されました旨、ありがとうございました。

車両レギュレーションは皆様の安全を考え、より安全なように設定しているルールではございますが、ドリフト業界を盛り上げて行きたい思い、皆様の負担を極力少なくしたい思い、いろいろな思いで各方面との調整を行っております。今後とも皆様の意見を反映してより良い競技会を作って行きたいと思っておりますので何卒ご理解とご協力をお願い致します。

皆様のご参加をお待ちしております。

注意項目

ラジエーター及びオイルクーラーなどの補機類は必ずメインフレーム内に収めてください。収まっていない場合、参加出来ません。